

第19回

同志社国際主義教育講演会

入場無料・申込不要・来聴歓迎

演
題

おとなの背中

講
師

鷺田 清一氏

哲学者・大谷大学教授・せんだいメディアテーク館長

日
時

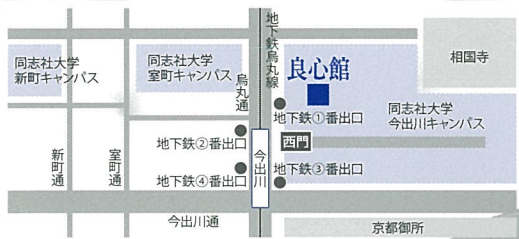
2015年1月14日(水)

開場 17時30分 開演 18時

場
所

今出川校地 良心館107教室

キャンパスには駐車場の準備はございません。
お車でのご来場はご遠慮ください。



講師紹介

1949年京都市生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院文学研究科(哲学)博士課程修了。関西大学文学部教授、大阪大学大学院文学研究科教授(哲学)、同研究科長、大阪大学理事・副学長を経て、大阪大学第16代総長を務める。来年度より、京都市立芸術大学理事長/学長に就任の予定。

日本倫理学会会長、国立大学協会副会長、人間文化研究機構評議員、文部科学省文化審議会委員、文部科学省中央教育審議会専門委員、日本芸術文化振興会評議員、国立国際美術館評議員、国際日本文化研究センター評議員、東京大学併任教授などを歴任。現在、サントリー文化財団理事、稲盛財団評議員、松下幸之助記念財団評議員、河合隼雄財団理事、村田学術振興財団評議員、京都服飾文化財団評議員、京都大学経営協議員等と、京都賞、サントリー学芸賞、大佛次郎賞、河合隼雄学芸賞、和辻哲郎文化賞、ちゅうでん児童文学賞、群像新人評論賞等の選考委員も務めている。

サントリー学芸賞、桑原武夫学芸賞、読売文学賞を受賞。2004年紫綬褒章。

これまで哲学の視点から、身体、他者、規範、所有、モード、国家などを論じるとともに、さまざまな批評活動をおこなってきた。近年は哲学の思考を社会の問題発生の現場につなげる「臨床哲学」のプロジェクトに取り組んでいる。

主な著書に、『聴く』こと力(阪急コミュニケーションズ)、『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫)、『メルロ＝ポンティ』(講談社)、『顔の現象学』(講談社学術文庫)、『悲鳴をあげる身体』(PHP新書)、『老いの空白』(弘文堂)、『待つ』ということ(角川学芸出版)、『わかりやすいはわかりにくい?』(ちくま新書)、『死なないでいる理由』(角川ソフィア文庫)など多数。近著に『哲学の使い方』(岩波新書)、『弱さ』のちから(講談社学術文庫)がある。

主催/学校法人同志社 国際主義教育委員会

お問合せ/学校法人同志社 法人事務部法人事務室 TEL.075-251-3006